

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 ポンプ用経腸栄養延長チューブ 12170042

ジェイフィールド ペグロック延長チューブ

再使用禁止

(ISO 80369-3 タイプ、ボタン型用)

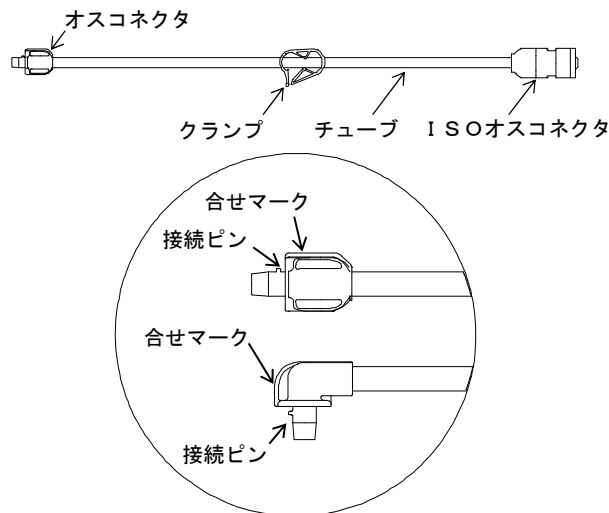
【禁忌・禁止】

再使用禁止

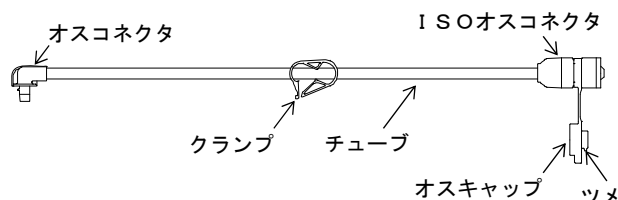
【形状・構造及び原理等】

〈構成図(代表図)〉

1. ストレート型



2. L 型



・ ISOオスコネクタは ISO 80369-3 に適合している。

〈原材料〉

構成部品	原材料
チューブ	ポリ塩化ビニル
オスコネクタ	ポリカーボネート
ISOオスコネクタ	アクリル
オスキャップ	スチレン系熱可塑性エラストマー

・ 本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：トリメリット酸トリ（2-エチルヘキシル））を使用している。

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	200kPa
引張強度	15N

〈原理〉

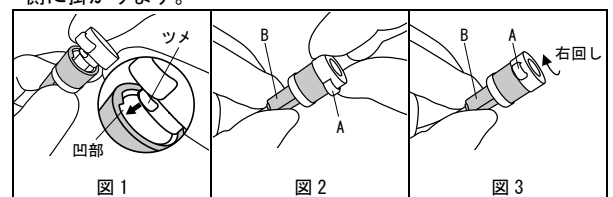
本品を経腸栄養投与セット等に接続することで、栄養剤等を供給するためのラインを延長する。経腸栄養投与セット等から本品を経由した栄養剤等が、本品と接続した胃腸栄養用チューブ等の医療機器を通して患者へ供給される。

【使用目的又は効果】

本品は、経腸栄養剤等を供給するために用いるポンプ式の経腸栄養注入ラインに接続する延長チューブである。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出し、クランプを閉じます。
2. 瘻孔に留置されているカテーテルのキャップを開き、オスコネクタとカテーテルの接続用コネクタ受け部の“合せマーク”同士を合わせて押し込み（この時、本品の接続ピンがカテーテルの接続用コネクタ受け部のスリットに挿入される）（以下、着脱ポジションという）、本品のオスコネクタをカテーテルの使用法等に従い、接続用コネクタ受け部の合せマークから右に回転させます。
3. クランプを開き、胃内の減圧を行います。
4. 本品の ISOオスコネクタから 5~10mL の微温湯によりフラッシングし、クランプを閉じます。
5. 本品の ISOオスコネクタにプライミング済みの経腸栄養投与セット等の ISO 80369-3 に適合したメスコネクタを緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
6. クランプを開き、栄養剤等の投与を開始します。
7. 栄養剤等の投与後、本品の ISOオスコネクタから経腸栄養投与セット等のメスコネクタを取り外します。
8. 本品の ISOオスコネクタから、10mL 以上の微温湯によりフラッシングし、本品のチューブ及びカテーテルの内腔を洗浄します。
9. 洗浄後、オスキャップを閉じる場合は、以下の手順で閉じます。
〔オスキャップの閉じ方〕
(1) ツメを ISOオスコネクタの凹部に差し込み（図 1）、隙間なく閉じます（図 2）。
(2) オスキャップを右に回し、A と B の位置を合わせます（図 3）。A と B の位置が合うことで、ツメが ISOオスコネクタの内側に掛かります。



10. クランプを閉じ、本品のオスコネクタを着脱ポジションまで左に回転させ、カテーテルの接続用コネクタ受け部から取り外し、カテーテルのキャップを閉じます。

〈組み合わせて使用する医療機器〉

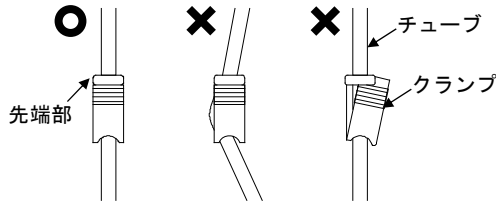
本品は、以下の医療機器の構成部品であるカテーテル（以下、カテーテルという）に接続して使用します。

販売名	医療機器認証番号
ジェイフィールド ペグロック	225ACBZX00007000

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
2. オスコネクタと接続用コネクタ受け部の着脱は、必ず着脱ポジションで行うこと。[オスコネクタ、接続用コネクタ受け部等の破損のおそれがある。]

3. ISOオスコネクタを他の医療機器と接続する際は、外れないように確実にすること。また、過度なかん合をしないこと。[コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。]
4. コネクタのはめ合わせ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]
5. クランプを閉じる場合は、クランプ先端部をまっすぐ押すこと。[斜めに押した場合やクランプ先端部以外の箇所を押した場合、チューブが完全に閉塞しないおそれがある。]



6. クランプを使用した場合は、投与再開時にクランプ部分のチューブの閉塞、変形に注意すること。
7. 鉗子及びクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
8. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端でクランプすると、チューブが破損し液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]
9. 本品をカテーテルに接続した状態で強く引っ張らないこと。[カテーテルが抜けるおそれがある。][本品、及び接続用コネクタ受け部が破損するおそれがある。]
10. 本品を使用しない時は、必ずカテーテルから取り外すこと。[カテーテルの逆流防止弁が開放された状態となり、胃内容物が逆流するおそれがある。][カテーテルの逆流防止弁が破損するおそれがある。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]
2. 使用中は本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等引っ掛かることがないように注意すること。[チューブの閉塞、外れ又は構成品の破損が生じるおそれがある。]
3. 使用中は本品の破損及び閉塞、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
- *4. 中鎖脂肪酸等の油性成分、油性成分及び界面活性剤を含む栄養剤等を投与する場合、アルコールを含む消毒剤を使用する場合は、ISOオスコネクタのひび割れについて注意すること。[ISOオスコネクタにひび割れが生じ、液漏れ、空気混入等のおそれがある。なお、接続時の過度な締めつけ、及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- *5. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
6. 固形物が残る栄養剤等を注入しないこと。[ラインが詰まり、必要な投与ができなくなるおそれがある。]
7. 粘度が高い又は不溶解物を含む栄養剤等を投与する場合、流量の管理に注意すること。[詰まり等により、流量に変化が生じるおそれがある。]
8. 本品を 60℃以上の温度にさらさないこと。[変形やチューブ接合部からの漏れ、外れ等が生じるおそれがある。]

＜不具合・有害事象＞

その他の不具合

空気混入、漏れ、変形、捻れ、外れ、緩み、詰まり、亀裂、破損

【保管方法及び有効期間等】

＜有効期間＞

3年〔自己認証（当社データ）による〕
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 082-243-5806